

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	14,700,000株	24年3月期	14,700,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	924株	24年3月期	924株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	14,699,076株	24年3月期2Q	14,699,076株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他の関連する事項につきましては、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災からの復興需要等を背景に緩やかな回復傾向が続いたものの、世界的な景気減速の影響や欧州の財政金融危機に起因する円高に加え、デフレの影響と個人消費の増税への懸念から停滞感は払拭されぬまま推移し、10月発表の日銀短観が示すとおり景況感は3期ぶりに悪化するなど、外需関連も冷え込む一方、業況判断指数(DI)は内需関連にも一服感が出ています。

現下の厳しい経営環境のもと当社グループの主力販売商品であるカーケア関連商品の販売先でありますサービスステーション(略称:SS)業界においては、原油価格の上昇から自動車燃料の大幅値上げによりユーザーの買い控えを誘発し、更にその先の低価格志向競争による東南アジア製品の乱売によりデフレ化の蔓延が適正価格の崩壊を招き、SS市場の商況に悪影響を引き起こしました。

また、当連結会計期間に特筆すべきは、地域大手特約店の収益確保策に急激な変化の兆候が現れたことです。具体的には、給油・カーケア関連用品販売(オイル・タイヤを含む)に傾注していたSSが本来の事業目的であるトータルカーライフサポートへの転換を目指し、車検から点検整備・一般修理・板金塗装・部品販売という事業を強調する変化であります。これにより、収益バランスにも変化が起り、当社の主力商品であるカーケア関連商品の販売にも影響がありました。

この急激な市場変化に即応しきれなかったことと、旧態から脱却すべき労務コンプライアンスの改善過程に際し、体制の整備のため一瞬ではありますが、過渡期的な非効率営業も苦戦の要因となりました。

商材面におきましては、前述に関連して当社の上期の基幹商材でもある、ワイパーブレードとエアコン関連ケミカルの販売が夏場以降は低水準で推移しました。

当第2四半期連結会計期間の業績内容とその内外要因の分析から、現況は当社が新たな地平へ踏み出す舞台への環境構築の時にあることの表れでもありと考へております。具体的には営業活動の効率化及び合理化を図るとともに、SS事業計画の転換期に照準を合わせたトータルカーライフサポートに対応できる業態転換に着手します。これにより、カーメンテナンス事業の拡大化・深耕化を計り、媒体プラスαの付加価値を提案する「MURAKIプラス」のネクストステージへの脈動がまさに今始まろうとしています。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高 4,459百万円(前年同期比 0.8%減)となりました。

収益面におきましては、売上総利益は 1,223百万円(前年同四半期は売上総利益 1,267百万円)。販売費及び一般管理費は、減価償却費が増加したものの人件費及びその他の経費の削減により 24百万円減少し、営業利益は 30百万円(前年同四半期は営業利益 49百万円)、経常利益 67百万円(前年同四半期は経常利益 70百万円)、法人税等 25百万円を計上し、四半期純利益は 36百万円となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

主力事業である「カーケア関連商品販売」事業につきましては、上記要因から売上高は 4,351百万円(前年同期の売上高 4,417百万円)セグメント利益は 34百万円(前年同期のセグメント利益 49百万円)となりました。「その他」につきましては、売上高は 165百万円(前年同期の売上高は 153百万円)セグメント損失は 7百万円(前年同期のセグメント損失 0百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は 3,890百万円(前連結会計年度末比 64百万円減)うち純資産は 2,238百万円(前連結会計年度末比 2百万円増)となりました。

資産の部における項目増減は、流動資産 28百万円の減少、固定資産 36百万円の減少となりました。主な原因は次のとおりです。流動資産は、現金及び預金の増加 133百万円、売掛債権の減少 82百万円、商品在庫の減少 88百万円等によるものです。固定資産は、有形固定資産のその他によるもの 7百万円の減少、無形固定資産のその他によるもの 8百万円の減少、投資等の減少 9百万円等によるものです。

負債については、流動負債の減少 27百万円、固定負債の減少 39百万円で、流動負債の増減内訳は、仕入債務の減少 14百万円、1年以内返済予定長期借入金の増加 20百万円、短期借入金の減少 25百万円等によるものです。固定負債は、長期借入金の減少 8百万円、社債の減少 16百万円、退職給付引当金の減少 17百万円等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、133百万円増加し、1,138百万円になりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は198百万円です。これは主要因として税金等調整前四半期純利益61百万円、売上債権の減少額81百万円、棚卸資産の減少額88百万円、退職給付引当金の減少額17百万円、仕入債務の減少額10百万円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は8百万円です。これは主要因として保険積立金の支払による支出12百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は56百万円です。これは主要因として短期借入金の純減額25百万円、長期借入金の借入による収入100百万円、長期借入金の返済による支出87百万円、配当金の支払額27百万円、社債償還による支出16百万円等によるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月10日付「平成24年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社グループは、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,026,654	1,160,338
受取手形及び売掛金	1,032,627	950,455
商品及び製品	640,447	552,198
その他	71,245	77,681
貸倒引当金	△4,131	△2,758
流動資産合計	2,766,842	2,737,914
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	775,203	771,103
減価償却累計額	△662,908	△667,510
建物及び構築物（純額）	112,295	103,593
機械装置及び運搬具	31,808	30,298
減価償却累計額	△24,846	△25,085
機械装置及び運搬具（純額）	6,962	5,213
土地	438,325	438,325
リース資産	2,875	2,875
減価償却累計額	△1,581	△1,868
リース資産（純額）	1,293	1,006
その他	172,616	171,475
減価償却累計額	△138,994	△145,174
その他（純額）	33,622	26,300
有形固定資産合計	592,499	574,438
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	45,095	39,846
差入保証金	399,407	381,719
その他	79,346	88,949
貸倒引当金	△21,103	△17,763
投資その他の資産合計	502,745	492,752
固定資産合計	1,188,234	1,152,168
資産合計	3,955,077	3,890,083

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	817,216	802,618
1年内償還予定の社債	33,000	33,000
1年内返済予定の長期借入金	163,200	184,050
短期借入金	45,800	20,600
リース債務	602	619
未払法人税等	46,935	32,332
賞与引当金	18,000	18,279
その他	91,956	97,873
流動負債合計	1,216,711	1,189,372
固定負債		
社債	50,500	34,000
長期借入金	122,000	113,650
リース債務	778	464
退職給付引当金	299,543	281,743
役員退職慰労引当金	10,240	15,637
その他	19,033	16,619
固定負債合計	502,095	462,115
負債合計	1,718,806	1,651,487
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,700	1,910,700
資本剰余金	88,604	88,604
利益剰余金	244,534	251,182
自己株式	△208	△208
株主資本合計	2,243,631	2,250,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,360	△11,683
その他の包括利益累計額合計	△7,360	△11,683
純資産合計	2,236,270	2,238,595
負債純資産合計	3,955,077	3,890,083

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	4,497,576	4,459,736
売上原価	3,229,731	3,235,745
売上総利益	1,267,844	1,223,991
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	570,369	552,880
賞与引当金繰入額	15,000	18,279
役員退職慰労引当金繰入額	4,245	5,397
その他	628,406	616,970
販売費及び一般管理費合計	1,218,020	1,193,527
営業利益	49,824	30,463
営業外収益		
受取利息	524	1,185
仕入割引	24,685	32,666
その他	5,000	9,681
営業外収益合計	30,211	43,534
営業外費用		
支払利息	2,924	4,735
手形売却損	3,104	1,625
社債発行費償却	1,959	—
その他	1,100	419
営業外費用合計	9,088	6,780
経常利益	70,946	67,216
特別損失		
固定資産除却損	623	4,460
投資有価証券評価損	—	925
その他	—	452
特別損失合計	623	5,838
税金等調整前四半期純利益	70,323	61,377
法人税、住民税及び事業税	20,158	25,332
法人税等合計	20,158	25,332
少数株主損益調整前四半期純利益	50,165	36,045
四半期純利益	50,165	36,045

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	50,165	36,045
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△2,351	△4,323
その他の包括利益合計	△2,351	△4,323
四半期包括利益	47,813	31,722
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,813	31,722
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	70,323	61,377
減価償却費	11,521	22,852
差入保証金償却額	751	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△665	△4,712
賞与引当金の増減額 (△は減少)	15,000	279
社債発行費償却	1,959	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3,420	△17,799
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,245	5,397
受取利息及び受取配当金	△618	△1,278
支払利息	2,924	4,735
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	925
固定資産除却損	623	4,460
売上債権の増減額 (△は増加)	△17,141	81,502
たな卸資産の増減額 (△は増加)	187,250	88,145
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	20,848	△9,975
差入保証金の増減額 (△は増加)	△1,534	11,720
仕入債務の増減額 (△は減少)	△101,753	△10,583
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	96	5,372
未払消費税等の増減額 (△は減少)	19,380	△2,829
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	—	700
その他	5,219	3,049
小計	215,010	243,339
利息及び配当金の受取額	1,677	582
利息の支払額	△3,275	△4,677
法人税等の支払額	△41,485	△40,635
営業活動によるキャッシュ・フロー	171,927	198,609
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△953	△815
無形固定資産の取得による支出	△54,757	—
貸付けによる支出	△3,500	—
貸付金の回収による収入	443	246
出資金の売却による収入	200	—
差入保証金の差入による支出	—	△7,763
差入保証金の回収による収入	2,669	13,920
長期前払費用の取得による支出	—	△2,352
保険積立金の積立による支出	△12,353	△12,778
その他	291	1,146
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,959	△8,395

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	33,400	△25,200
長期借入れによる収入	150,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△24,600	△87,500
社債の発行による収入	98,040	—
社債の償還による支出	—	△16,500
配当金の支払額	—	△27,032
その他の支出	△281	△297
財務活動によるキャッシュ・フロー	256,558	△56,530
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	360,525	133,684
現金及び現金同等物の期首残高	665,032	1,004,654
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,025,558	1,138,338

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、カーケア関連商品販売を主たる事業としており、「自動車補修部品」「自動車ケミカル」「サービスステーション備品」等の「カーケア関連商品販売」と「自動車販売及び整備」「看板・チラシ等の販促物の企画・製作」「保険・旅行の代理業務」等の「その他」を報告セグメントとしております。

なお、前連結会計年度のセグメント区分から変更はありません。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	カーケア関連 商品販売	その他	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	4,417,169	80,407	4,497,576	-	4,497,576
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	45	72,758	72,803	(72,803)	-
計	4,417,214	153,165	4,570,379	(72,803)	4,497,576
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	49,060	△486	48,573	1,250	49,824

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	カーケア関連 商品販売	その他	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	4,351,811	107,925	4,459,736	-	4,459,736
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	57,168	57,182	(57,182)	-
計	4,351,825	165,093	4,516,919	(57,182)	4,459,736
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	34,593	△7,631	26,961	3,501	30,463

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。